

多まなび

 **放送大学** 東京多摩学習センターだより第21号 2018年4月発行



「多摩の風景4 -多摩川-」 齋藤文孝

発行 放送大学東京多摩学習センター 〒187-0045 東京都小平市学園西町1-29-1

TEL : 042-349-3467 E-mail : tama-sc@ouj.ac.jp URL : <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/tama/>

新任のご挨拶

東京多摩学習センターでは4月から新たに4人の客員教員をお迎えしました。
ご挨拶をいただきましたのでご紹介いたします。



東京多摩学習センター客員教授

さとう まさひろ
佐藤 正広

本年度から客員教授に就任しました、佐藤正広と申します。私の専門は日本近代の社会・経済史で、とくに日本における統計調査の歴史を研究しています。明治時代、欧米列強による植民地化の危機を乗り切らねばならぬため、日本は中央集権国家を目指し、欧米からさまざまな制度を輸入しました。統計制度もその一環として輸入されました。しかし、当時の民衆にとって、学制や兵制と同様、統計制度もまた、なじみのないものでした。国家が必要に迫られて実施したさまざまな統計を、民衆がどのように受け止めて回答したかという問題は、すなわち、明治以降の日本国家が民衆をどれだけ組織できていたかということを示すものです。そういう観点から、私は国家による統計の制度設計とならんで、その社会的受容のあり方についても調べています。つまり、統計調査の歴史と言っても、私の研究テーマは民衆思想史や民衆運動史とも密接な関連をもっています。

日本の近世から近現代の歴史に関心のある皆さんと、一緒に勉強していくことを楽しみにしています。



東京多摩学習センター客員教授

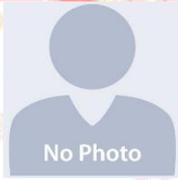
くぼ てつじ
久保 哲司

東京多摩学習センター客員教授をつとめることになりました久保哲司（くぼ・てつじ）です。本務校は一橋大学です。私が一橋に着任した1992年、前期教育（1・2年生向けの授業）は小平キャンパスで行われていましたので、週に2～3回、この地に通いました。1996年に前期教育が国立キャンパスに移転するまでの4年間でした。今回、このなつかしい場所にまたご縁ができて、非常にうれしく思います。

放送大学では2002年から5年ほど、「ドイツの言語文化」という科目を担当したことがあります。ラジオの放送授業でしたので、受講者の方々と顔を合わせることはありませんでした。今回は面接授業やゼミを担当しますので、皆さんと直接お会いできるのをとても楽しみにしています。

私の専門はドイツ語圏の文学・文化で、特にヴァルター・ベンヤミンという思想家・文筆家（1892－1940年）を研究しています。また最近では、ドイツ文学における恋愛の諸相について小冊子を書きました。

誰もが考えなければならない問題とは、つきつめれば人と人との関係、自然と社会にたいする人間の関係ということでしょう。そうした根本問題を考えるための手掛かりを豊かに含んでいるドイツ語圏の文学作品や芸術作品について、皆さんと語り合いたいと思います。どうぞよろしく願います。



東京多摩学習センター客員教授

かない よしひこ
金井 嘉彦

東京多摩学習センター客員教授をつとめることになりました金井嘉彦(かないよしひこ)です。どうぞよろしくお願いたします。専門は、ジェイムズ・ジョイスやジョージ・ムアを中心とした世紀転換期のアイルランド文化・文学です。

アイルランドはヨーロッパの西端、大西洋に浮かぶ小島です。日本からは遠く離れた国ですが、アイルランド人が見せる感性は不思議なほどにわれわれの感性と近いところが多く、情情的には近い国と言ってよいと思います。アイルランドはまた植民地の歴史を持つ国であるがゆえに厳しい歴史を生きてきた国でもあります。その爪痕はなお北アイルランド問題という形で残っております。私に関心を持っている時代は、ジョイス的に言うならば、その「歴史という悪夢」から目覚めようとした時期にあたり、アイルランドという国のあり方を模索した時期にあたります。

われわれの生きる生、文化、国というものを、無限にある可能性の中の一つの形と考えるなら、アイルランドという国は、日本とはまた違う、生、文化、国のあり方の可能性の一つを示す国と言えるのでしょうか。アイルランドの文化・文学の魅力の一端をみなさんと一緒に見ていただけたらいいなと思います。



東京多摩学習センター客員准教授

は た の しげゆき
波田野 茂幸

みなさま、こんにちは。この4月より、東京多摩学習センターの客員准教授に就任いたしました国際医療福祉大学の波田野茂幸(はたのしげゆき)といたします。

一昨年まで、非常勤講師として臨床心理学演習を担当し、また、東京多摩学習センターで学習相談の担当をしておりました。この度は、再度依頼を受け、お引き受けした次第です。

放送大学の学生の皆様とかかわる中で、私なりの気づきがありました。授業を通して出会った皆様には、未知なる世界の学びに触れてエネルギーを生み出し、前進していく様子があると感じていました。また、学習相談の中でお会いした方々は、学びを通して実生活の体験を新たなフレームの中に入れなおし、「いま」の自分を定位させ、これからの自己の展望を抱いておりました。そこから、人生100年の時代を渡り歩く方法を教えていただいた気持ちでおりました。

心理学の世界は、国家資格としての心理職が生まれ、社会制度の中で位置づけられる新しい時代に入りました。そのため、資格取得に関心が集まりブームも感じています。しかし、そもそも、心理学は自己を知り、他者と出会い、生きやすい社会や関係性をいかに構築していけるか、知恵を出し合い工夫を積み重ねていくことに貢献できる学問ではないかと考えています。私が専門としている臨床心理学も、心理治療的なかわり(心理的ケア)を個別に行う発想から、地域社会の中に入って(アウトリーチ)、心理社会的な問題を防ぎ、生きやすさを生み出し、心理社会的成長を促していける環境づくりを目指した考え方での心理的支援まで、幅広い実践がなされていく時代になりました。

2020年のオリンピックは、きっと一つの節目になり、その先をどう生きるか、皆が考える時代に入るのではないかと考えています。臨床心理学は、そのような思いをもつ者に示唆を与えてくれる学問ではないかと思っています。授業や学習相談を通して、内なる思いをことばにし、自分の考えを明確にしていけるお手伝いが出来たらと考えています。

どうぞお気軽に学習相談をご利用ください。お待ちしております。

システム WAKABA がリニューアルされました

放送大学における教務情報システム（システム WAKABA）につきましては、2018（平成30）年3月末をもって全面リニューアルいたしました。

新しいシステム WAKABA では、キャンパスネットワークホームページ（CNHP）の機能を統合し（CNHP は廃止）、ポータル性の強化を図る等、使い勝手がより良くなるよう目指して参りましたので、学生の皆様におかれましては益々ご活用いただければ幸いです。

※新しいシステム WAKABA の概要・マニュアル等については、新システム内のお知らせ等をご覧ください。

放送教材(DVD・CD)の貸出し方法が変わりました

放送教材（DVD・CD）の室外・郵送貸出しは、2018（平成30）年2月末をもって所属学習センターによる業務を終了し、4月から放送大学本部（千葉県千葉市）に業務を集約し、「郵送による放送教材貸出しサービス」に変更となりました。

新しい貸出し方法は、申込み方法を複数設けることで利便性向上を図ります。

※放送大学本部での貸出しの受付開始は2018（平成30）年4月2日（月）午前9時からとなります。

※本サービスの利用は、放送大学在學生（休学中を除く。）に限ります。

※2018（平成30）年3月から、学習センターでは放送教材の貸出しを行いません。

BS 放送へ完全移行します

現在、関東の一部地域でご視聴いただける地上デジタル放送（12チャンネル）及びFMラジオ放送（東京：77.1MHz、前橋：78.8MHz）は、2018（平成30）年9月末をもって終了し、同年10月より、BS放送に完全移行します。

なお、一部のケーブルテレビでも、2018年3月末または9月末をもって放送を終了する予定です。

※BS放送への完全移行後につきましては、チャンネル編成が変更となる可能性があります。詳細につきましては、今後本学ホームページのお知らせ等でご確認ください。

2017年度第1学期卒業証書・学位記授与式



2017年9月24日（日）、2017年度第1学期卒業証書・学位記授与式が開催され、卒業生76名のうち37名が出席されました。なお、東京多摩学習センター所長表彰も同日行われ、対象者28名のうち10名が出席されました。ご卒業・ご受賞、誠におめでとうございます。

<卒業生からのメッセージ>

- ・「生きるとは知ること」のフレーズが大好きです。10年以上かけて一つの学部をやっと卒業できました。家族からのサポートに感謝しています。
- ・発達障害があり苦労しましたが無事に卒業することができました。障害があっても卒業できる。これはとても大きな希望になりました。今後同じような人たちも続いていける学びができればと思います。
- ・卒業まで11年半かかりました。卒業を満たす単位が取得された知らせを頂いた時は、俄かには信じられず、卒業証書を受け取って初めて達成感と開放感が湧いてきました。
- ・1975年に高校卒業した後、生活に追われて気が付けば定年が目の前でした。何とか定年の60才までに大学を卒業したく放送大学の門を叩き今に至ります。大変たくさんの事を学んだと思います。充実した4年間でした。

2017年度第2学期入学者の集い



2017年10月1日（日）、2017年度第2学期入学者の集いが開催され、新入生795名のうち72名が出席されました。ご入学、誠におめでとうございます。

<参加者からのご感想>

- ・学長からのメッセージ、所長からのメッセージで、学生生活がイメージできました。これから、テレビでの講義、学習センターの利用などで、自分自身の教養を高めていきたいと思います。
- ・とても学びやすい環境であることがよくわかって良かった。
- ・学生証を頂きちょっと感激しました。さまざまな年代の方々がいらして励みになりました。
- ・先生方のお話が一つひとつ興味深く、心に残りました。
- ・がんばって勉強していく決意を新たにしました。ありがとうございました。

2017年度学生研修旅行



2017年10月12日(木)、2017年度学生研修旅行が開催され、学生29名・教職員4名が参加しました。

今回の行き先は佐野厄除け大師・あしかがフラワーパーク・史跡足利学校で、佐野市・足利市の歴史・文化に触れ学生・教職員の親睦を深める有意義な旅行となりました。

＜参加者の声＞

- ・初めて見る大師に感激。大きくてきれいだった。
- ・あしかがフラワーパークの特にスイレンの美しさに感動しました。

- ・史跡足利学校は、日本最古の学校という事で興味があつた。説明する人(ボランティアガイド)がいっしょに廻ってくれて良かった。
- ・日本最古の足利学校は、放送大学の精神にも通ずる意義のある見学場所でした。
- ・聞いたことはあっても訪れたことはない三カ所でした。今回の研修旅行で三カ所共来られたことは有意義でした。
- ・参加者との交流もでき、研修旅行自体は十分に楽しめました。
- ・今年も充実した研修旅行となり、ありがとうございます。来年もよろしくお願いします。

たま祭2017

2017年9月30日(土)・10月1日(日)、たま祭2017(第5回放送大学東京多摩学習センター文化祭)が開催されました。

10月1日は2017年度第2学期入学者の集いも行われ、新入生の方々に当学習センターのサークル活動・同窓会活動を知ってもらう良い機会となりました。

サークルの活動発表・展示・催し物、個人参加者の作品展示、卒業研究報告書・修士論文発表会、同窓会の修学相談などバラエティ豊かな内容で、多くの方々にご来場いただき、今回も盛況のうちに終わることができました。



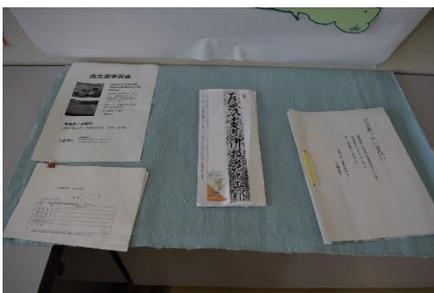
たま祭ポスター



ぶら多摩くらぶ 展示



漢方クラブ 展示



古文書学習会 展示



茶道クラブ『無門会』お茶会



天文同好会『宇宙校』プラネタリウム

2017年度第2学期公開講演会

テーマ：「やる気を育む心理学」

講師：進藤聡彦（放送大学教授） 2018年2月4日（日）開催



＜参加者アンケートより＞

- ・やる気ということについて、あらためて考える事が出来てとても良かった。特に達成動機と好奇動機の因果関係について良く理解できた。
- ・「学習性無力感」という事を教えて頂き、勉強ができない子供の心を理解するのに大変役立ちました。「何でできないんだ」ではなく、その子の立場に立って、考える事が第一だと感じました。
- ・やる気を育むために大切な事（ほめる、分かりやすく説明する）等とても面白いお話で、早速仕事の上で使ってみたいと思いました。

テーマ：「脳の臓器特異性とそれに基づく予防・診断・治療管理」

講師：高里良男（国立病院機構災害医療センター名誉院長） 2018年2月25日（日）開催



＜参加者アンケートより＞

- ・私自身が脳動脈の手術をしましたので、その処置を学問的に把握することが出来た。
- ・脳みそがいかに繊細かよくわかりました。
- ・大変難しい医療分野の内容でしたが勉強になりました。
- ・資料が丁寧、分かりやすかった。
- ・大変参考になりました。生理心理学を登録しようと思いますので、自分でも細かな部分を調べることにします。
- ・健康に関することは興味があるので、またやっていただきたいです。



所長の迷想

東京多摩学習センター所長 坂内徳明（ばんない とくあき）

似顔絵（少々イケメンに描かれている？）の作者である澤田智加さんは2017年4月に入学、車椅子を使用される方ですが、介護者のサポートもあって放送・面接授業、単位認定試験、さらに多摩ゼミにも積極的に参加されています。その学びの姿勢にとっても大きな力をもらっているのは私だけではありません！

■今号の表紙について

＜作品詳細＞ 2018年、277×190、水彩紙、鉛筆、水彩

＜作者＞ 東京多摩学習センター図書室・視聴学習室担当職員 齋藤文孝（さいとう ふみたか）

＜絵について＞太古より、悠久の時を経て流れ続ける多摩川は、武蔵野台地の形成と深く関わってきた。江戸時代、羽村から取水された水は玉川上水、現在では二つの湖に集められ、人々に送られている。雪どけの河原に足を運ぶと、鶺鴒が生き生きと飛び交っていた。多摩川の恩恵は、様々な生命を育くみ、人々の暮らしを支えている。

【編集後記】

新年度が始まりました。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。在学生の皆様、引き続きありがとうございます。本学にとって、2018年度は変化の多い年になりそうですが、皆様一人ひとりが学習環境の変化に対応できるよう、教職員一同サポートに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【総務係 小林】

2018(H30)年度第1学期カレンダー(教養学部・修士選科生・修士科目生)

注)大学院全科生は『研究指導履修の手引』・『学生生活の葉』をあわせてご参照下さい。

4月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 閉所日	3	4	5	6	7 入学者の 集い	8 同窓会 講演会
9 閉所日	10	11	12	13	14 面接授業空 席発表	15
16 閉所日	17	18	19	20 面接授業 追加登録 抽選会	21	22
23 閉所日	24	25	26	27	28	29 昭和の日
30 閉所日						

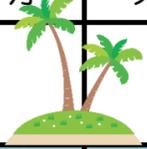
7月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 閉所日	3	4	5	6	7	8
9 閉所日	10	11	12	13	14	15
16 海の日	17	18	19	20	21	22
23 閉所日	24 臨時 閉所日	25	26	27 試験 (院)	28 試験 (院)	29 試験 (学部)
30 閉所日	31 試験 (学部)					

5月

月	火	水	木	金	土	日
	1 夏季集中型募集受付 看護:5/1~5/31 司書:5/1~6/7	2	3 憲法 記念日	4 みどりの 日	5 こどもの 日	6 臨時 閉所日
7 閉所日	8	9	10	11	12	13
14 閉所日	15	16	17 通信指導 提出開始 (web)	18	19	20
21 閉所日	22	23	24 通信指導 提出開始 (郵送)	25	26	27
28 閉所日	29	30	31			

8月

月	火	水	木	金	土	日
		1 試験 (学部)	2 試験 (学部)	3 臨時 閉所日	4 試験 (学部)	5 試験 (学部)
6 閉所日	7 臨時 閉所日	8	9	10	11 山の日	12 臨時 閉所日
13 閉所日	14 臨時 閉所日	15	16 卒 研 履修申請 8/16~23	17	18	19
20 閉所日	21	22	23	24	25 26 教員免許更新 講習試験	
27 閉所日	28	29	30	31 30-2 学生 募集期限 ①最終日		

6月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4 閉所日	5	6	7 通信指導 提出 (最終日)	8	9	10
11 閉所日	12	13	14	15 30-2 学生 募集開始	16	17
18 閉所日	19	20	21	22	23 卒 研 がけ	24
25 閉所日	26	27	28	29	30	

9月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 閉所日	4	5	6	7	8	9
10 閉所日	11	12	13	14	15	16
17 敬老の日	18 臨時 閉所日	19	20 30-2 学生 募集期限 ②最終日	21	22	23 秋分の日
24 閉所日	25	26	27	28 看護夏季集中 単位認定試験	29	30 学位記 授与式 地上波放送 終了

・休学・復学・退学届×切日

(注1)このカレンダーは2018年3月末時点のものです。日程等の変更があった場合は、学習センターHP・センター内の掲示板等でお知らせいたします。